



2001年11月28日

バクスター株式会社

〒102-8468 東京都千代田区六番町4

米国バクスター、エポエチンオメガの独占的製造販売権を取得 医薬品分野への進出を強化

米バクスター社は、医薬品分野への進出強化をその世界戦略の一つとして打ち出していますが、2001年10月16日、貧血治療に必須の薬剤である遺伝子組換え型エリスロポエチン製剤「**エポエチンオメガ**」の独占的製造販売権を取得したと発表しました。今後は日本市場への投入も視野に入れ、販売の拡大を図ります。

エリスロポエチン^{*}製剤は、透析製品市場（透析機器、透析液、ディスプレイ製品、医薬品を含む）の中で、単体では最大規模の販売量を有します。全世界市場における売上高は2000年で50億ドルに達し、2005年には倍増するといわれ、日本における市場は2000年で1,200億円強、透析患者への投与がその80%近くを占めるといわれています。

米バクスターがこのほど取得した**エポエチンオメガ**は、現在使用されているエポエチンアルファあるいはエポエチンベータとは異なる生理化学的活性をもつ画期的な製品です。バクスターの将来にとって大きな潜在力を秘めている抗がん剤の分野にもこの技術を適用することができます。エポエチンオメガは米国やヨーロッパをはじめとする多くの地域においてすでにパテントを有しており、アジア、中南米、東欧の15カ国で承認・販売されています。米バクスターはこの製品を販売するにあたって、これまで培われてきた評価と医療従事者との関係を活用していく一方、日本をふくむ販売地域の拡大も図ります。また大規模な臨床開発プログラムを通して可能な限り速やかに、腎臓病に関連した貧血のみならず、がん関連の貧血への適応拡大を図ります。

米バクスターはバイオサイエンス事業部において遺伝子組換え製剤の開発・製造技術に長い経験をもっており、またメディケーションデリバリー事業部において薬剤投与システムの高度な技術をもっています。従ってエポエチンオメガを世界中の新しい市場に導入することに成功し、医薬品分野への進出という新たな方向性を確かなものにするに確信をもっています。

^{*} エリスロポエチンは腎臓から分泌されるホルモンで、骨髄における赤血球の産生を刺激します。赤血球は生体内のすべての臓器・組織に酸素を運ぶ媒体としての役割を持っていますが、腎臓の機能が低下してくると、エリスロポエチンの分泌が低下し、赤血球の産生量が減少することで貧血を誘発します。末期腎不全になると、患者は貧血を起こすため、赤血球の減少を補うために、エリスロポエチン製剤を必要とするようになります。

この件に関するお問い合わせ先

バクスター株式会社 コミュニケーション室

電話：03-5213-5100(代表)

FAX：03-5213-5638